

令和 4 年度 不眠症状に着目したうつ啓発事業について

1 背景

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和 2 年には全国の自殺者数が 11 年ぶりに増加した。なかでも若年層や働き盛り層の自殺者が特に増加している。
- ・本市においては、令和 3 年の自殺者数は横ばい(10 人)であったものの、年代では 40～50 歳代、原因は健康問題と家庭問題が多い。また、こころの相談件数は増加傾向で、精神的なしんどさを抱えている人が増えている。
- ・自殺者の半数弱がうつ病に罹患していると言われており、また、うつ病等の気分障害は年々増加傾向にある。
- ・「うつ」と聞くと抵抗を感じる人が多く、うつ病罹患者の 4 人に 3 人は医療機関に受診していない可能性があると言われてしている。自殺と関係の深いうつ病の早期相談・早期受診を促し、自殺予防対策に努める必要がある。

2 目的

うつ病の顕著な身体症状である不眠症状について、「睡眠」をキーワードに周知啓発を図ることで、不眠症状からうつ病への気づきにつなげ、うつ病の早期相談・早期受診を促進する。

3 内容

- (1) 頻繁に市販の睡眠改善薬を購入している人や長期にわたって睡眠薬が処方されているが効果が見られない人への啓発
 - ・市内ドラッグストア、医療機関、薬局への啓発ポスターの貼付、チラシの設置。
- (2) 勤労者、学生、その他の人への啓発
 - ・駅前総合案内所、自治会等と連携し、守山駅内掲示板、自治会掲示等でのポスターの貼付。
 - ・商工会議所と連携し、商工ジャーナルや企業訪問での周知啓発。
- (3) 市公式 YouTube で啓発動画の配信

4 実施期間

令和 4 年 9 月 1 日から（自殺予防週間に合わせ開始）